

CEFR の日本人外国語学習者への適用可能性 の向上に向けて

根岸 雅史

(東京外国語大学大学院)

1.1 CEFR 採用の経緯

東京外国語大学 21 世紀 COE 「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」において、評価班は、複数の外国語を学習している学習者に対し、言語能力の共通枠組みを開発することを目標に研究を行ってきた。現在の日本においては、複数の言語に対応した共通の枠組みが存在せず、個別の枠組みのみ開発がなされているが、複数の言語が第二言語として使用される欧米においては、共通の枠組みの必要性が早い段階で求められてきた結果、American Council on the Teaching of Foreign Languages (ACTFL) や Canadian Benchmarks, Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) などの枠組みが提案されてきていることが分かった (和田, 長沼, 田中 (2004))。これらの枠組みを比較検討した結果、CEFR が我々の必要とする枠組みの雛型として参考になるのではないかと考えた (和田 2004)。

1.2 CEFR の特徴

評価班が、言語能力記述枠組みの雛型として採用する CEFR とは、欧州議会によって開発された、多言語を対象とした枠組みである。これは、ヨーロッパにおける言語教育の向上のための一般の共通基盤を作成するという目的のもと開発されたものである。特徴としては、学習者がコミュニケーションの手段として言語を使用する際に、何を学ぶべきかを記述すると同時に、関連する知識や技能、実際のコミュニケーションの場面やタスクについても記述している点が挙げられる。言語能力は、Understanding (Reading・Listening), Writing (Writing), Speaking (Spoken Interaction・Spoken Production) の 5 つ観点から記述されおり、レベルは、下から上へ A1/A2/B1/B2/C1/C2 という 6 段階が設定されている。この枠組みにおける言語能力の記述の特徴としては、‘I can ...’ で始まる Can-do statements を採用している点が挙げられる。このように「実際に言語を使用して何ができるのか」を示すことで、習得段階を明示的に記述することが可能となっている。

CEFR をもとに作成されたものに DIALANG self-assessment statements (以下, SAS) (Council of Europe 2001: 231-234) があり、本調査では、こちらをもとにしたアンケート

を用いてデータ収集を行った。DIALANG とは、3 技能（聞く・読む・書く）の能力、構文力、語彙力をそれぞれ評価することを目的とした、インターネット上で受験可能な診断テストである。DIALANG の SAS では、受験者が各自の言語能力を自己評価することになっている。この開発にあたっては、各項目の困難度を調べるため、フィンランド語の学習者（304 人中 250 人はスウェーデン語母語話者）を対象に調査を行い、その結果をもとにレベルの評定付けをし、枠組みを作成した経緯があった（Council of Europe, 2001）。

CEFR では各技能のレベルの包括的な記述がなされていたが、SAS では CEFR の 1 つのレベルに含まれる項目を切り離し、それぞれを独立させて評価項目にしている。たとえば、CEFR の「聞く」の B2 レベルでは、

「長い話や講義を理解することができ、適度になじみのある話題であれば、複雑な議論でもついていくことができる。ほとんどの TV ニュースや時事問題を扱った番組を理解できる。標準語の映画なら大半は理解できる。」

と記述されているが、SAS の「聞く」の B2 レベルでは、

「話題に比較的なじみがあり、話者が話の筋を明確に示してくれれば、長い話や複雑な議論の流れを理解することができる。」

「標準語のテレビニュース、ドキュメンタリーのような時事問題を扱った番組、生放送のインタビュー、トーク・ショー、演劇、映画のほとんどを理解することができる。」

というように、2 つの項目に分けられている。つまり、CEFR が概括的な記述であるのに対し、SAS は個別・具体的な記述となっているといえることができる。

1.3 CEFR の適用可能性研究

中島・永田（2006）においては、CEFR の各技能において設定されている能力の発達段階の記述が、日本人学習者に対しても適用可能であるかということを検証した。その結果、項目の困難度に多少のぶれは見られるものの、CEFR が日本人学習者に対しても適用可能であることが明らかになった。ただし、その中のいくつかの項目は、本来想定されている困難度からずれるものであった。以下、具体的に見ていく。

READING

A1	I can understand short, simple messages, e.g. on postcards. 葉書などに書かれた、短く簡単なメッセージを理解することができる。
----	---

この項目は本来 A1 レベルに設定されているが、中島・永田（2006）では A2 レベルに相等する項目困難度の数値が算出された。これは外国語での postcard のイメージを日本語の「葉書」から連想したために、その「葉書」の中にはかなりの量の情報が含まれていると取ってしまったと考えられる。このため、回答者は CEFR の想定より困難であると判断したのではないだろうか。ところが、実際には CEFR の想定していると思われるのは、Merry Christmas! や Happy Birthday! といったようなメッセージからなる葉書と思われる。

A2	<p>I can understand simple instructions on equipment encountered in everyday life — such as a public telephone.</p> <p>公衆電話のような、日常生活で出くわす機器についての簡単な使用方法を理解することができる。</p>
----	---

この項目は本来 A2 レベルに設定されているが、中島・永田（2006）では、B1 レベルに相等する項目困難度の数値が算出された。日本人学習者が、simple instructions on equipment encountered in everyday life をかなり難しいものと考えてしまった可能性がある。SAA には「公衆電話」という具体例が挙げられているが、このような機器にどのような使用方法が書かれているのかが正しくイメージされなかったのかもしれない。

WRITING

A2	<p>I can explain what I like or dislike about something.</p> <p>何かについて好きか、嫌いかを説明することができる。</p>
----	---

この項目は本来 A2 レベルに設定されているが、中島・永田（2006）では、A1 レベルに相等する項目困難度の数値が算出された。これは好みを表す表現については日本の外国語教科書等で頻繁に取り上げられるため、自分の好みについて書くことは CEFR が想定するよりも日本人学習者にとって困難度が低くなったのではないか。

C2	<p>I can provide an appropriate and effective logical structure, which helps the reader to find significant points.</p> <p>読み手が重要な点を見つけられるような、適切で、効果的な論理的構成を提示できる。</p>
----	--

この項目は本来 C2 レベルに設定されているが、中島・永田（2006）では、C1 レベルに相等する項目困難度の数値が算出された。これは大学の授業においてパラグラフ・ライティングについての指導を受けたために「できる」と回答した被験者が多く、その結果 CEFR

の想定よりも困難度が低くなったと考えられる。

LISTENING

A2	I can understand enough to manage simple, routine exchanges without too much effort. それほど努力しなくても、英語を聞いて理解し、単純で日常的な会話のやり取りをすることができる。
----	--

この項目は本来 A2 レベルに設定されているが、中島・永田（2006）では、B1 レベルに相等する項目困難度の数値が算出された。これは without too much effort という部分の解釈に幅があったと考えられる。また、SAS において、simple, routine exchanges が指すものが、学習者がイメージしたものと異なっていた可能性もある。

A2	I can handle simple business in shops, post offices or banks. お店や郵便局、銀行で簡単な用を済ますことができる。
----	--

この項目は本来 A2 レベルに設定されているが、中島・永田（2006）では、B1 レベルに相等する項目困難度の数値が算出された。お店や郵便局、銀行で外国語を用いて行う簡単な用件には、「値段を聞く」「切手を買う」「換金する」などが含まれる。こうした用件自体が、日本人学習者には馴染みがなく、それゆえ、彼らにとって CEFR の想定より困難度が高くなってしまったのかもしれない。あるいは、回答者がこのような用件よりも高度な用件をイメージしてしまった可能性もある。

A2	I can catch the main point in short, clear, simple messages and announcements. 短く明確で簡単なメッセージやアナウンスの重要な点をとらえることができる。
----	--

この項目は本来 A2 レベルに設定されているが、中島・永田（2006）では、B1 レベルに相等する項目困難度の数値が算出された。これは short, clear, simple messages and announcements といったものが回答者に正しくイメージされなかった可能性がある。

1.4 リサーチ・クエスチョン

「SAS における各項目の困難度は日本人学習者にとっての困難度の順序と一致するか」について調べた中島・永田（2006）は、項目の困難度に多少のぶれはあるものの、CEFR が日本人学習者に対しても適用可能である、という結論に達している。ただし、そこでは

次のような可能性が挙げられている。

- アンケート項目の内容を詳細な具体例とともに提示することにより、アンケートの精度が改善されるかもしれない。
- 言語能力の自己評価を「できる」「できない」の2回答のみに限定せず、多段階で行わせることにより、より正確に実態が反映されるかもしれない。

そこで、本研究では、中島・永田（2006）において、問題があると指摘された項目に対して具体例を参考資料として附し、アンケートの形式を4件法にして実施することにした。リサーチ・クエスチョンは以下の通りである。

1. SASにおける各項目の困難度は日本人学習者にとっての困難度の順序と一致するか。
2. 日本人学習者にSASを適用する場合、具体例を参考資料として附すことで、困難度の改善が図られるか。

中島・永田（2006）では、そのアンケートは「できる・できない」の判断を求めた2項データであったため、Xcalibreという項目応答理論のプログラムが用いられた。これに対して、本研究においては4件法を用いるためにFacetsという多相ラッシュ測定のためのプログラムが用いられた。Facetsでは弁別力を項目ごとに推定しないために、中島・永田（2006）で問題とされた弁別力の低い項目については、分析対象とはしていない。

2. 研究

2.1 被験者

本研究は東京外国語大学の学部学生および2校の高等学校の生徒を対象にアンケート調査を行った。各アンケートの被験者の内訳は表1の通りである。

表1 アンケートの回答者数内訳

	READING	WRITING	LISTENING
東京外国語大学	74	74	74
A 高等学校	203	203	192
B 高等学校	493	487	461
計	770	764	727

中島・永田（2006）では、東京外国語大学の学部学生に専攻語と副専攻語について回答させているが、本研究では、以下に述べるように、参考資料が英語であるために、英語の能力値として幅広い回答者が必要となった。そのために、本学の学生以外に高等学校の生徒にも協力を要請した。ただし、回答が不完全なものがあったため、それらについては削除して分析を行った。

2.2 アンケート

被験者に回答してもらったアンケートとして、SAS の READING, WRITING, LISTENING を使用した。アンケート項目は、中島・永田（2006）において問題項目であることが明らかになった項目に参考資料を附して、4 件法とした。中島・永田（2006）と同様に、アンケートの日本語訳を英文とともに提示した。なお、各アンケート項目の番号は本調査のために付け直したものをを用いる。

さらに、今回の研究では、中島・永田（2006）において問題があるとされた項目に、参考資料を付している。これらの参考資料があるアンケート項目には【→資料参照】のマークを付け、回答の際には、これを参照するよう促している。

以下、それぞれの概要を説明する。READING の 5 では、具体的なカードの見本を示した。READING の 11 では、メニューとしてピザの出前のメニュー、時刻表としてロンドンの電車の時刻表を示した。READING の 15 では、公衆電話については、いくつもの機種があるために、その利用法を書いたものを 2 種類示した。

WRITING の 5 では、個人情報を記入するものとして、ホテルの宿泊予約申し込みの書式を示した。WRITING の 13 では、好き嫌いの説明をするものとして、ホームステイの申し込みの書式を示した。ここでは、食事や娯楽、スポーツ、ペット、水泳などについての好みが見られる。

LISTENING では、オーセンティックな会話例や会話集などから、該当場面のものを探して、編集した。LISTENING の 7 では、日常的な会話の話題として、歯医者予約や天気、スーパーの場所などを扱っている会話を示した。LISTENING の 12 では、銀行や郵便局での簡単なやりとりを示した。LISTENING の 16 では、簡単なアナウンスとして、ロンドンの地下鉄の駅アナウンスを示した。

2.3 研究手順及びデータ分析の方法

調査と分析は以下の手順で行った。

- (1) アンケートを 2006 年 6 月に実施した。被験者に SAS の READING, WRITING, LISTENING の各項目について自分が英語を用いて、「確実にできない」「たいていできない」「たいていできる」「確実にできる」かを回答してもらった（実際に経験したことのない項目についてはできると思うかどうかを推測で回答してもらった）。

- (2) 4 件法による回答「確実にできない」「たいていできない」「たいていできる」「確実にできる」を順に1・2・3・4というデータとみなし、各アンケートの信頼性（クロンバックの α 係数）を求めた。
- (3) (2) のデータを Facets というソフトを使用して項目応答理論による分析を行い、各アンケート項目の「項目困難度」を求めた。
- (4) Facets によって算出された「項目困難度」に基づき、各アンケートの項目を「易しい項目」から「難しい項目」へと一直線上に並べ、CEFR に基づくレベル分けと合致するかどうかを検証した。

2.4 結果

2.4.1 アンケートの信頼性

各アンケートの信頼性係数（クロンバックの α 係数）は表2の通りである。アンケートにおいて信頼性係数はみな.90 以上あり、これらのアンケートは信頼性の高いものであるとすることができる。

表2 各アンケートの信頼性係数

	被験者数	項目数	信頼性係数
READING	770	16	0.90
WRITING	764	15	0.93
LISTENING	727	20	0.95

2.4.2 各アンケート項目の項目困難度と CEFR のレベル分けとの対応

Facets によって算出された「項目困難度」に基づき、各アンケートの項目を「最も易しい項目」から「最も難しい項目」へと一直線上に並べた。今回の分析では、項目困難度は-3.5あたりから+3.5あたりの間の値で示され、数値が低いほど易しい項目、数値が高いほど難しい項目を意味する。結果は表3~5の通りである。

表6~8より、READING, LISTENING, WRITING それぞれにおいて、A1の項目が最も易しく、A2, B1, B2, C1, C2の順に困難度の数値が高くなっていくことが確認できる。このことは、CEFRが日本人学習者へも適用可能であることを示唆していると考えられる。なお、これらの表のうち、グレーで示された列に含まれる項目は、本来想定されている困難度からはずれた項目を示している。

表 3. READING のアンケート項目の困難度（項目番号順表示）

アンケート 番号	CEFR レベル	項目 困難度	ランク
3	A1	-1.74	14
4	A1	-1.96	15
5	A1	-3.3	16
6	A2	-1.59	13
7	A2	-0.32	9
8	A2	-0.93	12
9	A2	-0.33	10
10	A2	-0.35	11
11	B1	0.07	8
12	B1	0.49	6
13	B1	0.1	7
14	B1	1.36	4
15	B2	1.25	5
16	B2	2.57	2
17	C1	1.54	3
18	C2	3.14	1

表 4. WRITING のアンケート項目の困難度（項目番号順表示）

アンケート 番号	CEFR レベル	項目 困難度	ランク
3	A1	-3.49	15
4	A1	-2.22	12
5	A1	-2.5	13
6	A2	-2.19	11
7	A2	-3.11	14
8	A2	-1.69	9
9	B1	0.99	7
10	B1	-1.75	10
11	B1	0.22	8
12	B2	1.66	6
13	B2	1.92	5
14	C1	2.76	3

15	C1	2.02	4
16	C2	2.79	2
17	C2	4.58	1

表 5. LISTENING のアンケート項目の困難度（項目番号順表示）

アンケート 番号	CEFR レベル	項目 困難度	ランク
3	A1	-3.59	20
4	A1	-3.4	19
5	A2	1.63	7
6	A2	-2.1	18
7	A2	1.2	8
8	A2	-1.52	16
9	A2	-1.54	17
10	B1	-0.93	13
11	B1	-1.31	15
12	B1	-1.09	14
13	B1	-0.14	11
14	B1	-0.92	12
15	B2	0.65	10
16	B2	1.88	6
17	B2	1.08	9
18	B2	2.09	5
19	C1	2.41	4
20	C1	2.64	3
21	C1	3.46	2
22	C2	4.15	1

表 6. READING のアンケート項目の困難度（困難度順表示）

アンケート 番号	CEFR レベル	項目 困難度	ランク
5	A1	-3.3	16
4	A1	-1.96	15
3	A1	-1.74	14
6	A2	-1.59	13

8	A2	-0.93	12
10	A2	-0.35	11
9	A2	-0.33	10
7	A2	-0.32	9
11	B1	0.07	8
13	B1	0.1	7
12	B1	0.49	6
15	B2	1.25	5
14	B1	1.36	4
17	C1	1.54	3
16	B2	2.57	2
18	C2	3.14	1

表 7. WRITING のアンケート項目の困難度（困難度順表示）

アンケート 番号	CEFR レベル	項目 困難度	ランク
3	A1	-3.49	15
7	A2	-3.11	14
5	A1	-2.5	13
4	A1	-2.22	12
6	A2	-2.19	11
10	B1	-1.75	10
8	A2	-1.69	9
11	B1	0.22	8
9	B1	0.99	7
12	B2	1.66	6
13	B2	1.92	5
15	C1	2.02	4
14	C1	2.76	3
16	C2	2.79	2
17	C2	4.58	1

表 8. LISTENING のアンケート項目の困難度（困難度順表示）

アンケート 番号	CEFR レベル	項目 困難度	ランク
3	A1	-3.59	20

4	A1	-3.4	19
6	A2	-2.1	18
9	A2	-1.54	17
8	A2	-1.52	16
11	B1	-1.31	15
12	B1	-1.09	14
10	B1	-0.93	13
14	B1	-0.92	12
13	B1	-0.14	11
15	B2	0.65	10
17	B2	1.08	9
7	A2	1.2	8
5	A2	1.63	7
16	B2	1.88	6
18	B2	2.09	5
19	C1	2.41	4
20	C1	2.64	3
21	C1	3.46	2
22	C2	4.15	1

2.4.2 考察

上述の通り，CEFR は全体としては日本人学習者に適用可能であるということがわかったが，CEFR において同レベルに設定されていても，他に比べ明らかに困難度に差が生じた項目がいくつか見受けられた。それらの項目は表3の通りである。以下，各項目について考察していく。

表9. 項目困難度が改善した項目

	Item
READING	5・7・9
WRITING	4
LISTENING	9

表 10. 項目困難度に明らかな差が生じた項目

	Item
READING	15 (下降) ・ 17 (下降)
WRITING	7 (下降) ・ 10 (下降)
LISTENING	5 (上昇) ・ 7 (上昇)

READING においては、具体的に読むべきテキストを示すことで、困難度の精度は確実に高まったといえるだろう。参考資料を加えたことで、5 の I can understand short, simple messages, e.g. on postcards. や 7 の I can find specific information in simple everyday material such as advertisements, brochures, menus and timetables. の項目困難度は、それぞれのレベルのレンジの中に納まるようになったものと思われる。また、8 の I can understand short simple personal letters. は 5 と対比させられることで、正確なレベルをイメージすることができたのではないか。ただし、15 の I can understand specialised articles outside my field, provided I can use a dictionary to confirm terminology. や 17 の I can understand any correspondence with an occasional use of dictionary. はともに「辞書使用」という条件を含んだ記述文である。「辞書が使える」と考えたために、どのような文章も読めると判断してしまった回答者が多かったものと思われる。

また、WRITING では、4 の I can fill in forms with personal details. には参考資料をつけることで、困難度を改善することができた。ただし、7 の I can explain what I like or dislike about something. や 10 の I can describe dreams, hopes and ambitions. は、英語の授業の中で扱われることが多いと思われるために、易しい項目と判断されたと思われる。

これに対して、LISTENING では、9 の I can catch the main point in short, clear, simple messages and announcements. は改善したものの、5 の I can understand enough to manage simple, routine exchanges without too much effort. と 7 の I can handle simple business in shops, post offices or banks. は困難度が上がってしまった。確かに、実際にアナウンスなどを耳にしたことのない日本人学習者にとっては、そのスクリプトが提示されることで、明確にイメージが得られたと思われる。しかしながら、5 と 7 は、困難度が上がってしまった。こちらに関しては、リスニングの実例を文字で示すことの問題点を示している。

6. おわりに

本研究の結果から、項目の困難度に多少のぶれは見られるものの、CEFR が日本人学習者に対しても適用可能であることが明らかになった。今回問題がないとされた項目については、日本人外国語学習者の能力判定に用いることはできるであろう。また、その中のいくつかには、Can-do statements の内容を具体的に表す資料を付すことが必要であるということもわかった。ただし、リスニングについては、文字でスクリプトをつけることは、

精度の向上には貢献しないと思われる。このため、リスニングに関しては、音声による実例を聞かせることが、精度の向上につながるのではないか。この点に関しては、今後のさらなる実証的研究が必要であろう。

日本人外国語学習者については、目標言語を使っての実際の言語使用経験の乏しさが指摘されてきている。このため、「できる・できない」の判断を求めた場合、実際に経験したことがないために、その判断がぶれてくることがわかっている。こうした言語使用経験の不足を補うものが、今回用いたような参考資料である。ただ、これは Can-do statements の本質的課題であるが、求められるパフォーマンスの困難度には幅があり、項目によってはその幅のかなり広いものから、比較的狭いものまでである。したがって、参考資料に含める言語資料の代表性も今後の研究課題となるであろう。

参考文献

Council of Europe. (2001). *Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment*. Cambridge: Cambridge University Press.

中島正剛. 永田真代. (2006). 「**CEFR** の日本人外国語学習者への適用可能性」(印刷中). 『外国語教育研究』No. 8, pp. 5-23.

和田朋子. (2004). 「TUFSS 言語能力記述モデル開発のための試み：Common European Framework (of Reference for Languages) の考察」. 『言語情報学研究報告書』No. 5, 東京外国語大学 21 世紀 COE プログラム, pp.89-102.

和田朋子.長沼君主.田中敦英. (2004). 「言語能力の発達段階の記述について」. 『言語情報学研究報告書』No. 2, 東京外国語大学 21 世紀 COE プログラム, pp.95-110.

Appendices

Appendix A

READING

3	I can follow short, simple written instructions, especially if they contain pictures.
	短く簡単に書かれた指示（特に絵を含むもの）に従うことができる。
4	I can recognise familiar names, words and very simple phrases on simple notices in the most common everyday situations.
	もっとも一般的で日常的な状況でよく出くわす、簡単な掲示に出ているような、なじみのある名前、単語、または非常に簡単な句を認識することができる。
5	I can understand short, simple messages, e.g. on postcards.
	葉書などに書かれた、短く簡単なメッセージを理解することができる。 【→資料参照】
6	I can understand short, simple texts written in common everyday language.
	一般的な日常語で書かれた短く簡単な文章を理解することができる。
7	I can find specific information in simple everyday material such as advertisements, brochures, menus and timetables.
	広告、パンフレット、メニュー、時刻表などの簡単な日常的な言語資料の中の特定の情報を見つけることができる。 【→資料参照】
8	I can understand short simple personal letters.
	短く、簡単な個人的な手紙を理解することができる。
9	I can understand simple instructions on equipment encountered in everyday life - such as a public telephone.
	公衆電話のような、日常生活で出くわす機器についての簡単な使用方法を理解することができる。 【→資料参照】
10	I can understand everyday signs and notices in public places, such as streets, restaurants, railway stations and in workplaces.
	通り、レストラン、駅のような公共の場所や職場にある標識や掲示を理解することができる。
11	I can find and understand general information I need in everyday material, such as letters, brochures and short official documents.
	手紙、パンフレット、短い公的な文書といった、日常的な文章において必要とする一般的な情報を見つけて、理解することができる。

12	<p>I can recognise significant points in straightforward newspaper articles on familiar subjects.</p> <p>なじみのある話題に関する簡単な新聞記事において、重要な点を認識することができる。</p>
13	<p>I can recognise the general line of argument in a text but not necessarily in detail.</p> <p>文章における議論の大まかな流れを認識することができる（ただし、必ずしも詳細に認識できるわけではない）。</p>
14	<p>I can understand clearly written straightforward instructions for a piece of equipment.</p> <p>機器に関する、明瞭に書かれた簡単な使用説明を理解することができる。</p>
15	<p>I can understand specialised articles outside my field, provided I can use a dictionary to confirm terminology.</p> <p>専門用語を確認するために辞書が使えるのであれば、自分の専門以外の専門的な記事を理解することができる。</p>
16	<p>I can quickly identify the content and relevance of news items, articles and reports on a wide range of professional topics, deciding whether closer study is worthwhile.</p> <p>さらに詳細に読む必要があるかどうかを決定するために、広範囲にわたる専門的な話題についてのニュース、記事、レポートの内容と関連性をすばやく確認することができる。</p>
17	<p>I can understand any correspondence with an occasional use of dictionary.</p> <p>時々辞書を使用すれば、どんな文書も理解することができる。</p>
18	<p>I can understand and interpret practically all forms of written language including abstract, structurally complex, or highly colloquial literary and non-literary writings.</p> <p>抽象的であったり、構造的に複雑であったり、高度に口語的であるような、文学的な文章や非文学的な文章を含む、実質的にあらゆる形式の書き言葉を理解し、解釈することができる。</p>

WRITING

3	I can describe where I live.
	どこに住んでいるかを記述することができる。
4	I can fill in forms with personal details.
	個人情報を書類に記入することができる。 【→資料参照】
5	I can write a short simple postcard.
	短く簡単な葉書を書くことができる。
6	I can give short, basic descriptions of events and activities.
	出来事や活動について短い基本的な記述をすることができる。
7	I can explain what I like or dislike about something.
	何かについて好きか、嫌いかを説明することができる。 【→資料参照】
8	I can describe my family, living conditions, schooling, present or most recent job.
	家族, 生活状況, 学校, 現在また一番最近の仕事について記述できる。
9	I can describe basic details of unpredictable occurrences, e.g., an accident.
	例えば事故のような, 予測できない出来事の基本的詳細について記述することができる。
10	I can describe dreams, hopes and ambitions.
	夢, 希望, 願望について記述することができる。
11	I can describe the plot of a book or film and describe my reactions.
	本や映画のあらすじを述べ, 自分の反応を記述することができる。
12	I can synthesise information and arguments from a number of sources.
	複数の出所からの情報や議論を総合することができる。
13	I can construct a chain of reasoned argument.
	筋の通った一連の議論を組み立てることができる。
14	I can develop an argument systematically, giving appropriate emphasis to significant points, and presenting relevant supporting detail.
	重点を適宜強調し, 関連する論拠を挙げながら, 体系的に議論を展開することができる。
15	I can usually write without consulting a dictionary.

	普段辞書を引くことなく、文章を書くことができる。
16	I can provide an appropriate and effective logical structure, which helps the reader to find significant points. 読み手が重要な点を見つけられるような、適切で、効果的な論理的構成を提示できる。
17	I can write so well that native speakers need not check my texts. ちゃんとした文章が書けるので、ネイティブ・チェックをしてもらう必要がないほどである。

LISTENING

3	I can understand questions and instructions and follow short, simple directions. 質問や命令を理解でき、短く単純な指示に従うことができる。
4	I can understand numbers, prices and times. 数字、値段、及び、時間を理解することができる。
5	I can understand enough to manage simple, routine exchanges without too much effort. それほど努力しなくても、英語を聞いて理解し、単純で日常的な会話のやり取りをすることができる。 【→資料参照】
6	I can generally identify the topic of discussion around me which is conducted slowly and clearly. ゆっくりはっきりと行われている、自分の身の回りの議論の話題が何であるかたいていわかる。
7	I can handle simple business in shops, post offices or banks. お店や郵便局、銀行で簡単な用を済ますことができる。 【→資料参照】
8	I can understand simple directions relating to how to get from X to Y, by foot or public transport. 徒歩または公共交通機関で、X から Y までの行き方についての簡単な指示を理解することができる。
9	I can catch the main point in short, clear, simple messages and announcements. 短く明確で簡単なメッセージやアナウンスの重要な点をとらえることができる。 【→資料参照】
10	I can guess the meaning of occasional unknown words from the context and understand sentence meaning if the topic discussed is familiar.

	時々知らない言葉が出てきても、文脈からその単語の意味を推測でき、話されている話題がなじみのあるものならば、文の意味を理解することができる。
11	I can follow clear speech in everyday conversation, though in a real life situation I will sometimes have to ask for repetition of particular words and phrases. 実生活ではある特定の単語や句を繰り返してもらうこともあるが、はっきりと話をしてもらえれば、日常会話についていくことができる。
12	I can understand the main points of clear standard speech on familiar matters which occur regularly. よく出てくる、なじみのある話題についてははっきりとした標準的な話し言葉の重要な点を理解することができる。
13	I can follow many films in which visuals and action carry much of the storyline, and in which the story is straightforward and the language clear. 視覚情報や動作で話のあらすじの大部分が分かり、話がわかりやすく、言葉がはっきりと話されている、多くの映画についていくことができる。
14	I can catch the main points in broadcasts on familiar topics and topics of personal interest when the language is relatively slow and clear. 比較的ゆっくりはっきりと話されている、なじみのある話題や個人的に興味のある話題に関する放送の重要な点を理解することができる。
15	I can understand in detail what is said to me in the standard spoken language. 標準的な話し言葉で自分に言われることは、細かな点まで理解できる。
16	I can follow the essentials of lectures, talks and reports and other forms of presentation which use complex ideas and language. 複雑な考え方や言葉を使用する講義や話や報告、及び、その他形式の発表の主要な点を理解することができる。
17	I can understand announcements and messages on concrete and abstract topics spoken in standard language at normal speed. 普通の速度の標準語で話をしてもらえれば、話題が具体的であれ、抽象的であれ、そのアナウンスやメッセージを理解することができる。
18	I can understand most TV news and current affairs programmes such as documentaries, live interviews, talk shows, plays and the majority of films in standard language. たいていのテレビニュース、ドキュメンタリーのような時事問題を扱った番組、生のインタビュー、トーク・ショー、演劇、そして標準語の映画の大多数を理解することができる。
19	I can keep up with an animated conversation between native speakers.

	ネイティブスピーカーの間で行われる活発な会話についていくことができる。
20	I can extract specific information from poor quality public announcements.
	音質の悪い公共の場でのアナウンスから特定の情報を聞き取ることができる。
21	I can follow films which contain a considerable degree of slang and idiomatic usage.
	かなりの俗語や熟語表現が含まれている映画でも、ついていくことができる。
22	I can follow specialised lectures and presentations which use a high degree of colloquialism, regional usage or unfamiliar terminology.
	口語表現やある地方特有の話し方、またはあまりなじみのない専門用語がかなり使われていても、専門的な講義や発表についていくことができる。

Appendix B

READING 参考資料

5	I can understand short, simple messages, e.g. on postcards. 葉書などにかかれた、短く簡単なメッセージを理解することができる。
---	---

(誕生日やバレンタインデー、クリスマスなどのカードは、著作権の都合により省略)

11	I can find specific information in simple everyday material such as advertisements, brochures, menus and timetables. 広告、パンフレット、メニュー、時刻表などの簡単な日常的な言語資料の中の特定の情報を見つけることができる。
----	--

(メニューは、著作権の都合により省略)

Heathrow Airport • London Paddington

Monday to Saturday	from	until	mins past each hour			
Departs T4	0507 0525	2341	10	25	40	55
Departs T1, 2 & 3	0512 0532	2347	17	32	47	02
Sunday	from	until	mins past each hour			
Departs T4	0503	0848	03	18	33	48
	0855	2125	55	10	25	40
	2147 2203	2333 2342	48	03	18	33
Departs T1, 2 & 3	0508	0853	08	23	38	53
	0902	2117 2133	02	17	32	47
	2152	2338 2347	53	08	23	38

*Average journey time 15 minutes (8 minutes more to and from Terminal 4) .

15	<p>I can understand simple instructions on equipment encountered in everyday life - such as a public telephone.</p> <p>公衆電話のような、日常生活で出くわす機器についての簡単な使用方法を理解することができる。</p>
----	---

(電話機の使い方についての文章は、著作権の都合により省略)

WRITING 参考資料

5	<p>I can fill in forms with personal details.</p> <p>個人情報を書類に記入することができる。</p>
---	--

Title:

First Name:*

Last Name:*

Company:

Address 1:*

Address 2:

Town / City:*

County / State:

Postcode:*

Country:*

E-mail:*

Telephone :

13

I can explain what I like or dislike about something.
何かについて好きか、嫌いかを説明することができる。

Home Stay Program Application Form

What American foods do you enjoy?

What is your favorite entertainment?

What are your favorite sports to play?

Please list any other hobbies or games you enjoy:

Do you like pets? _ No _ Yes, what kind?

Do you enjoy swimming?

_ Yes _ No

Please rate your swimming ability:

_ Excellent _ Good _ Fair _ Poor

LISTENING 参考資料

7

I can understand enough to manage simple, routine exchanges without too much effort.

それほど努力しなくても、英語を聞いて理解し、単純で日常的な会話のやり取りをすることができる。

Man: Hello – I have an appointment to see the dentist at eleven.

Woman: Oh dear, you're very late. That was over half an hour ago.

Man: What time is it now?

Woman: It's eleven forty.

Man: I hope you have a nice holiday with lots of sun.

Woman: Thanks, but I heard the weather forecast and it isn't very good.

Man: Is it going to rain?

Woman: It's worse than that. It's going to snow!

Woman: How far is the nearest supermarket?

Man: Well, Johnson's is the best one but that's nearly five kilometres away.

Woman: Isn't there one nearer?

Man: Well, there is one three kilometres away but it's not very good.

12	I can handle simple business in shops, post offices or banks. お店や郵便局, 銀行で簡単な用を済ますことができる。
----	---

At the bank

You: Excuse me, I'd like to change some traveller's cheques.

Clerk: Certainly, sir. How many?

You: Two, please.

Clerk: Please sign them. There's a pen on the table over there.

You: Yes.

Clerk: May I see your passport, please?

You: Yes (showing passport) . Here are the cheques (giving cheques) .

Clerk: Thank you

At the post office

You: I'd like to send this letter to Japan, please.

Clerk: Right, sir. I'll just weigh it. (Weighs.)

You: Thank you.

Clerk: That will 32p, sir

16	I can catch the main point in short, clear, simple messages and announcements. 短く明確で簡単なメッセージやアナウンスの重要な点をとらえることができる。
----	--

Please mind the gap. This is Holborn. Change here for the Central Line. The next station is Russell Square. Please stand clear of the closing doors.